

## 教材・支援機器活用実践事例

### 【衛生面での基本的な生活習慣に困難さがある生徒へ 自分自身で気づき、その定着を図る支援】

子どもについて	学校・学級・学年	中学校・知的障がい特別支援学級	
	対象の障がい	知的障がい	
	授業形態	個別学習	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	特に衛生面に関する習慣が確立されておらず、家庭での協力も得にくい。社会の自立に向けて、自分自身で衛生管理しなければならない意識を定着させることが必要である。	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	確認カード・マグネット	<p>【画像】</p> 
	活用のねらい	<p>○登校後、前日の夜の取り組みについて、できたかどうかを自分で確認できる。</p> <p>○登校後だけでなく、昼や放課後に行うべき項目を準備し、毎日の生活のリズムをつくることができる。</p>	
授業における支援 ・教材の配慮事項	<p>○特に、衛生面に関する項目については、視覚でも確認できるような絵も準備した。</p> <p>○本人のモチベーションを保つために、本人が大好きな猫の絵を使用した。</p> <p>○活動の時間帯毎にマグネットの色を変えた。</p> <p>○できた項目がたまったら、猫シールをプレゼントする。</p>		
子どもの変容や評価	<p>○やるべきことを視覚的に理解し、活動できる。また、できなかった時も猫のがっかりした絵にマグネットを移動したくない様子が見られ、意識して取り組めるようになった。</p> <p>○休日の様子について振り返ることまでは難しいので、登校日のみの活動になってしまいが、取り組みを家庭にも知らせて、継続して行えるようにしている。</p>		